（八日夕刊）
磐城新聞
休刊 大祭日、第一第三日曜
定價 一ヶ月 六十錢 一部 五錢 郵稅 十五錢
廣告料 壹行六十錢 指定廿錢增
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

井蛙論

自己宣傳を色取る島田忠夫を駁す

福田將夫

去二十四日「磐城新聞」夕刊より、二週間許りぶつ續けて又亦、ほざいた島田忠夫なる低能兒の「啓蒙記」を讀むに、私への駁論の名のもとに隱れて、自己の「賣名」表現を色どり卑劣なる虚句駄文を羅列したる島田のその怯懦な態度を抵り嗤ひつゝ、筆を執ることにする。

低能兒島田は、「詩南車」一派を掩護なしてゐるが、島田の掩護なすだけの、價値ある詩南車同人達であるだらうか、彼等の把握する藝術思想、――極めて稀薄なもので、今日まで表現された詩歌は、咀嚼しきらない甚だ幼稚なそして拙劣な作品の數々なのである。

片寄、宮田皆然りである。私は彼等の支持する一派の藝術――思想などを惡罵そうとは思はぬが、低能兒島田を手先なし、その後に蠢いてゐる片寄等一派の潛行的醜行爲を、私はひとつ、ひとつ手にとるが如く判然と見拔くことが出來る。

低能兒島田が非難論を書いても、その大本である詩南車一派は、一言の答もなくて、哀憐々々、默し、首を項垂れてゐるのにはなにか、島田が憤激態度に出ずるに、片寄等憤慨せぬ以ちと、怪訝しきことである、怯懦な彼等は却行しつゝ、醜と狡猾なる惡計を島田にさづけ微笑を漂してゐるあたり、無力なまゝと惑い、な自稱詩歌人達であるで私は名附けて彼等を曾名役者的自稱ダダ詩人と稱すのである。（この尊稱は私の創案になるものであることを附記する光榮を有して頂きたい）

島田が汗水流して「啓蒙記」を書く前にこんな面白いエピソートがある。まあ[illegible]を當擦に喋々する譯もないが、諸君！まあ暫く耳を傾けて呉れ給ひ、

低能兒島田が、私の駁論「嘲笑記」を讀み、相當憤激的態度をもつて、私のもとを訪れて來た。そして彼は、心の怒を面相に表現して「福田君、磐陽詩歌人が俺に憐憫の瞳を投げてゐるといふのは誰方ですか？」と彼は先づ恁ふ訊いた。

私は平穩的心持であつさりと「誰だとは、判然と指定されませんね、その人達のためにも宜しくありませんから……」と答へた、すると又、島田は「君の尊敬してゐる高瀨、松本の兩君なども餘程、この論爭のことに付いて書かして呉れ、書かして呉れと俺の處へ來てゐる」と大き顔で云つた。

私は又、あつさりと「あゝ島田君書き度い人は書くべしですね。嬉んで書かすが宜しいでせう」と一寸皮肉に出た。すると島田は新聞を出して、「此處に出てゐる腦髓もうてんといふ意味は」と訊いた。

「あゝ、それは頭の狂ひといふ意味です」と答へると、島田は、彼獨特の皮肉な面相を斜にして「君、そうかね、字典にもないし一寸きかない詞だ、アイヌ語でもあるかな」と鼻で嗤た。

私は少し感情を害したが、これ以上應答の必要なく、默して仕事を續けてゐた。暫くして、島田は、きりゝ／＼と怒を鋭く現して「餘り生意氣なことを書く人を馬鹿にするにも程がある。俺は土方、使つてゐるのだ。餘り生意氣なことを書くと土方達に撲せてしまふぞッ！」と荒々しい、奴隷で脅嚇文句を吐いた。

彼はかゝる態度を以つて私を驚愕させ、壓迫なす野心満々てるものである。

彼はこの恐言を吐くと同時に靴音荒々しく歸つて行つた。私はつくづく思つた。相當な年積者の島田が威嚇文句を吐き並べた態度を一瞬して、餘りにも馬鹿氣た島田の狂態に同情の泪でもそゝぎたくなつたのだ。

どこを探して歌人としての良心があるのだらう、自己宣傳を色どり、蛙鳴蟬噪的な態度に出づる彼を思ふと吐瀉が催してくる一定の彜倫をもわきまへない泡沫心理に束縛された奴はてた奴である。

私の目前で惡罵をなし紙上で私を妄者呼りをなし、相當なる歌人如き言を弄してゐるが誠に假面をかぶつた文藝熱病患者である。（つゞく）

明日の吉凶

二月十日　舊曆一月十一日　新曆九日

▲一白 上に逆らはず下を惠む時は大吉の日と成るべし
▲二黑 此れと云ふ氣苦勞もなく平和の裏に進む日
▲三碧 目上の引立に逢ふ日我意に募れば凶となる
▲四綠 難事は自ら引受けて勵む心あれば事皆成る
▲五黃 初めは難みあれども午後は大吉と成るべし
▲六白 運氣塞がりて晴れざる日田園生活が尤も適す
▲七赤 山又山を越ゆるが如き苦しみある日つまづきを注意
▲八白 心よく且勵みの付く日但し仕入物注意の事
▲九紫 事成に近つきて運びの鈍る日奮勵一番せよ

講談

幕末奇傑 高山彦九郎

西洋々作　布施長春畫

(62) 同類相呼ぶ（五）

翌朝未明、彦九郎の姿は身輕い旅裝束にいでたつて廣瀨屋の店先に現はれました。

まだ朝と呼ぶよりは夜に近い頃ほひ、あたりの家はみなひつそりと寢靜まつて人の子一人、道を行く者もありません。

「それでは、幸兵衛殿、明春、また改めてお世話に相成り申すぞ」

門口に見送るものはこの家の主、幸兵衛唯一人です。彦九郎はかういつて別れの言葉を述べました。

「はい／＼、それではお早くお歸りの程を、お待ち申して居ります」

「うむ、では、さらばじや」

「は、ではもうお出掛でございますか。隨分ともにお氣をつけ遊ばして……」

十一月の風は都にも冷たく吹いて居りました。常ならば暖かい寢床に横たへておるべき體を、朝風になぶらせ乍ら彦九郎は都大路を西へ歩みを運んで行きました。

行く程に來かゝつたのは三條の大橋です。中國筋へ行くにはいさゝか廻り道のこの道を擇んだのはひとへに皇居をしばしの別れを惜しまん心からでした。

折から、霜凍る秋のまゝえ、冬の初めでした。大地に膝まづく手には痛い程の冷氣がおそひかゝつて參りましたが、彦九郎は心にもかけずはるかに、雲の上に居ます帝の御安泰を祈りました。

「草莽の臣、高山彦九郎正之、しばしのお別れ申し上げ奉ります」

彼の忠誠が天も聞いたかどうか折から東天をから紅にそめて昇りましたのは朝の太陽でした。赫々とし輝く陽光を浴びつゝ彦九郎はいつまでも／＼伏し拜んだ頭を上げようとはしませんでした。

やがて重い使命が心に浮んで參ります、彦九郎は改めて暇乞ひの言葉を吐くとつと身を起しました。

「高山氏」

その時ふと背後からかう聲がかゝりました。聞き覺えのあるようなと思つて振りかへて見ると、そこに皆川き園が老軀を立たせて居りました。

「おゝ、これは皆川先生」

はつとして頭を下げると

「天晴れの御忠誠、き園唯々感服參つた」

第一に、きえんが發した言葉はこれでした。

「は」

彦九郎は、唯改まるばかりでした。

「その御心、その忠誠あれば今日の使命もいと易く達せらるゝでありませう。必ずともにそのお心を忘れなく」

「は、誓つて、使命を果して御目にかけます」

「うむ、頼もしいお言葉、では早々にお立ちあれ」

きゑんは改めてから促しました。

「拙者、實は陰乍らお見送り申さうと存じあつたのぢやが、あまりに感じいつた御貴殿の御忠誠、につひ我ならぬ言葉をおかけ申したのぢや。お足をとゞめてとんだ失禮を致した。さゝどうぞお立ち下され」

「は、では、これにて失禮いたしまする」

「うむ、さらばでござる」

見送るものゝ心にも見送らるゝものゝ心にも美しい涙のひゞきが流れ渡りました。君を思ひ、國を憂ふ忠義の至情、そこから湧き起る感激の情の涙であり知己に欣び喘ぐ心のそれでありました。

夜間診療
胃腸 內科部 內科 十二指腸虫病 專門
梅毒 外科部 淋病 婦人病 皮膚病 專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

平町紺屋町
吉田眼科醫院

ヒゲタ醤油
銚子醤油株式會社
特約店 平町田町 廣瀨支店 電話五四番

X光線 外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平町南町 上田外科醫院 電話一二九

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり載けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社 平出張所 電話六〇三番 五四一番

內科診療
消化器病科 呼吸器病科 小兒內科 一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂 渡邊內科醫院 電話一六一番

サロンのバーには
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御獻立をして御座います
ドーゾ御試食を……
美味で評判の きもちよい サロン
田町松月堂隣り 電話三五二番
男、女給仕人數名募集

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

○ツ石炭の特色
目方の正確
○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります
◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません
◎當店は目方の正確を期する爲めに 正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました
品質の優良
○ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります
大量生産ですからお安く賣る事が出來る强味を持つて居ります
○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから
電話二三七番へ
平驛前 阿部石炭商店

特賣!!
花 たひら正宗 福島縣清酒品評會 一等賞受領
春 同 優等賞受領
醬油釀造元 鹽屋 山崎合名會社 電話一〇番

動力使用
最新獨逸式製材機取付
製板製材並びに諸建築用材一式請負
迅速―叮寧―安價
增尾木工場
平町仲町 增尾甚市郎 電話四六九番

◎獨乙フンケル會社製
蓄音器針新荷着
◎一本の針デ五回モ使用ガ出來ル
◎高音低音ノ調節自由
◎値安ハ舶來品中デ最モ安イ勿驚（二百本入五十錢）
△この最モ經濟的ナルアノ入針ヲ御薦メ致シマス
特約店 大谷時針病院 電話十九番

外科 醫學博士 藤本順
產科 婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町 木村病院 電話一六四番

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰 生葡萄酒
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖 たばなし 三番

內科、小兒科 市原卯太郞
外科一般、婦人科 市原陸郞
皮膚、梅毒、淋疾病 市原三三男
平町田町本通
市原醫院 （入院隨時） 電話一一四番

清酒 世界 釀造元 吉 清水屋
石城小名濱町 小野晋平
銘酒 各炭鑛御用達 電話六番

政治生命を最後に 悲壯なる決意
極力同情を乞ふと 佐藤候補の挨拶

第三區北部相双を背景として立候補した政友派佐藤庄太郎派は氏の絕對地盤を放棄し得ず遂に豫想通り平町鍛治町吉田伴吉氏方に事務所を置き石城の票を集取することになつたが聊か立遲れの觀があるのでこれが不利を石城方面で挽回すべく急轉直下的の活動を開始した結果僅か一夜にして戰鬪準備整ひ今昨日中には全有權者に挨拶狀を發し文書戰を開始すると共に今八日からは毎日八ケ所乃至十ケ所の豫定を以て猛烈な論陣を布くことに決定したが佐藤候補の立候補の挨拶は左の如し

立候補に就いて

寒冷の候愈々御清勝の段賀し奉ります扨て今回の總選擧に當り第三區同志各位が熱烈な御推薦を受け茲に衆議院議員候補者たるの光榮を擔ひました事は私の感激措く能はざる處であります

私の政見は申すまでもなく立憲政友會が公表したる八大政策を遵奉して國民生活の安定を解るにあり全國的に脅威を感じてゐる現在の不景氣狀態から脫して元氣潑溂たる生活狀態に立て直したいと云ふのが私の主張であります、幸ひ各位の御同情により當選の榮を得ましたならば過去四十年間私の生命を捧げて來ました政治運動の體驗により粉骨碎身邦家憲政の爲め延いては地方福利增進の爲め勇往邁進するの覺悟であります

今回の選擧に出馬し若し敗戰するが如き事あらば私の政治生命も最後であります故に悲壯な決心を以て逐鹿場裡に立ち必勝を期する覺悟であります

只管各位の御同情に訴へます

昭和五年二月

立憲政友會公認
衆議院議員候補者
佐藤庄太郎

あす郡下三所に 堀切氏の熱辯
木村候補を應援の爲め 選擧民待ち焦る

石城政友木村候補の言論戰は甲、乙の遊說隊、連日各地に善戰し七日は玉川、磐崎、泉、小名濱に善戰し更らに明九日は前衆議院議長堀切善兵衛氏の應援を求め午後一時より內鄕村磐城劇場、午後三時より植田町菊田座午後五時より平町聚樂館外一ケ所に於て一大獅子吼を試みることゝなつたが流石に前衆議院議長として經濟通の第一人者を以て誇る堀切氏の來演は刻下の政局に際し犬養總裁に次ぐ政友會の一枚看板にして之れを聽かんとする選擧民の期待は大いなるもがあり各地とも大盛會を豫想されてゐる

選擧の心得（四）
之れだけは必ず知れ

（一〇）選擧人、議員候補者、議員候補者にならうとする者、運動者又は當選人に對して亂暴をしたり、嚇したり誘拐したりしてはならぬこと。

選擧人や議員候補者や議員候補者とならうとする者や運動者や當選人の身邊へ立塞がり若くは追隨したり、之等の者に對して亂暴をしたり、些細なことでも嚇したり無理やりに連れ出したり抑留したりすると犯罪になります。用水とか、小作とか、貸借とか、婚姻等の事の關係とかを利用したり又は神社、寺院、學校會社組合市町村等に利害關係のあることを種にして、選擧や、議員候補者や議員候補者にならうとする者や運動者や當選人を嚇すことも犯罪になります。

◇

（一一）演說を妨害したり往來や集會の便を妨げたり其の他不正の方法で選擧運動の妨げをしたりしてはならぬこと

演說會場で故と喧噪をしたり狂暴に渉る事をしたりして演說を妨害すると犯罪になります。往來や集會の便を妨げる爲めに車や演說會場を借切つたりすること等も犯罪になります。又違反事件が出來たとか主腦運動者が辭任したとか死亡したとか言つて當選に影響を與へる樣なことを僞つて言ひ觸らしたり其他凡ゆる不正の方法で投票の自由又は選擧運動の自由を妨げることも犯罪になります。

（一二）議員候補の當選を得るために又は當選を妨げるため僞りの事柄を言ひ觸らしてはならぬこと

議員候補者、當選を得るために議員候補者の身分、職業又は經歷について有もせぬ僞りの事柄を演說したり、新聞雜誌に書立てたり、ビラやポスターに書いて配つたり張つたり其の他どういふ方法でも公衆に知らせるやうなことをすれば犯罪になります、當選を妨ぐる爲に議員候補者に關して有もせぬ僞りの事柄を右と同じ方法で公にすれば犯罪になります。

（一三）大勢集つたり、練り歩いたり、煙火を揚げたり、鐘や太鼓を鳴らしたり、旗を立てたりなどして氣勢を張るやうなことをしてはならぬこと

選擧のために斯樣なことをして、警察官吏から制止を受けても聽かないと犯罪になります。

（一四）銃器や、槍や刀や棍棒のやうな物を携帶してはならぬこと

選擧の爲に銃器や、刀劍や棍棒等人を傷つける樣な危險な物を携帶すると犯罪になります。斯樣な物を持つて投票所や、開票所に入ると一層重い犯罪になります

（一五）大勢集まつて亂暴をしたり騷いだりしてはならぬこと

投票所や、選擧會場を騷がしたり其處で亂暴をしたりすると重い犯罪になりますが大勢集つて斯樣なことをすると尚ほ一層重い犯罪になります。その他選擧に關して騷ぎを起したり、亂暴をしたりするために大勢集つても警察官吏の解散の命に從はぬと犯罪になります。

四月の新學期から 平商業校が昇格
卒業年度も五年に 只だ就職の斡旋

平商業學校も既報の如くいよ〳〵今年度から五學年制度の甲種商業に昇格させ來る四月、新學期から實現することになり生徒は今年度卒業生の希望者並に校外生の編入試驗に合格した者を收容することゝなつたが今年は財界不況の結果から四學年に進學を希望する生徒は極めて少なく定員六十名に對して希望者僅かに三十名にみたぬ有樣で學校ではやむを得ず校外生の募集をなして不足を補ふ事となりこれが方法その他を協議してゐる所が同校は卒業生の賣れ行きのよい點で縣下でも有名であつたが今年はこの不景氣にたゝられて進學希望者を除いた四十餘名の卒業生に對し現在僅かに五名が七名足らずの求人申込みしかないこれには流石の學校當局も閉口し今月中旬から「卒業生の御用はありませんか」と各銀行、會社へ御用聞きに出ることゝなつたが前に就職斡旋の惱み後に收容難の惱みをしてゐる平商校も今年は餘程の厄年である

比佐候補の 人氣が絕大
高田氏郡民へ

比佐候補應援の爲め來郡した民政黨本部特派員高田耘平氏は昨七日五ケ所の演說會に臨み同夜自分の選擧區たる栃木縣大田原町に歸省したが去るに臨むで同氏は

石城郡は聞きしに優る激戰地であるに驚ろいたが更らに比佐君が豫想以上に人氣のあるのには嬉しい

郡民諸君に申したいのは石城は如何に混戰でも地元郡から立派な候補者のある以上氣を揉まずに其の人に投票する覺悟がなければならぬと思ふ」云々

愛林標語募集

石城林野保護組合聯合會では愛林思想普及のため標語入ポスター俗謠、童話等を募集するが〆切は二月十八日まで宛名は平署平營林署平署各派出、駐在所である

濱三郡木炭
組合の檢査高

濱三郡木炭同業組合に於ける去月中の木炭檢査高は十二萬七千百五十俵で前年同期に比すると需要期にも拘らず四萬二千七百三十七俵の減を示してゐるこれは中央において他縣の製品に壓倒されてゐる結果製產減を來したものとも見られて居るが更に深い原因は金解禁その他の影響で製產品格安なためこれが回復策を講ずるため製產者が製產減をなしたものであると

石城の礦區
試掘を許可さる

石城郡下所在左記鑛區は今回試掘を許可された

△石城郡湯本郡磐崎村石炭九九二〇〇〇坪東京市日本橋區駿河町三井鑛山株式會社△石城郡飯野村石炭九〇七三〇〇坪東京市麴町丸の內一丁目磐城炭礦株式會社△同郡鹿島村高久村飯野村石炭九五八二〇〇坪同社△石城郡江戶町鹿島村石炭九六二三〇〇〇坪同社△耶麻郡奥川村瀨俺五八三九〇〇〇坪東京市小石川區大塚仲町新名常次郎△石城郡山田村石炭六七〇〇〇〇坪群馬縣勢多郡敷島村石田榮三郎

女角力
高久　晚霞

興行の女角力は近く來てやぐら太鼓を朝まだき打つも
戯むれて誓ひし角力興行に行かなと吾兒のせがみ止まなく
角力見に吾兒とい行くに面はゆくそのかの母も誘なひ强ひぬ
おみなとも見分かぬ土俵の力士等にいぶかしの目を子の瞬はりつゝ
同性のしぐさ折々あさましと心うとみつゝ妻の見るらし
花持ちて赤き衣着て踊るとき優さし力士は女なりけり
ふさはしきなりはへぞとしいそしむか女力士の足らひがほなる
深き興をおみな角力に見出でつるや夜毎來るてふ女ありけり
掛小屋に吾兒をかたみに見つゝ思ふ斯く幼なくて見し村芝居
鋭心（とごころ）のわれに似し子は力士等の持つ運命（さだめ）などくどくど聞くも
早いする習ひはかなし演技見つゝ興ずる吾兒を眠りの襲よ
しぐさ見る興失せしどにあらねども寒さに堪えず歸らな吾兒よ
雨の日を見に行く人　有りや無しや角力太鼓の絕ね絕ねひゞく
果ての日の女角力の小屋の前たまたま吾子とさすらひしかな
左までわがこゝろ引かざる角力なれ子よ歸らむぞ再びは見じ
（五、二、六詠）

平署舊正月の 特別執行
一千八百件

平署では舊正月に當り諸取締及警戒の特別執行をなし

獵銃の手入中に 過つて射殺
傍にゐた隣家の女を 入遠野の椿事

石城郡入遠野村字大平農平三郎弟鈴木榮喜（二九）は去る二日午後九時頃自宅爐端で散彈のこまつてゐる獵銃の手入れ中誤つて引金に手が觸れ傍でそれを見てゐた隣家の鈴木リヨ（五三）の胸部及び兩腕に命中血まみれとなつて昏倒したので驚き直に上遠野村の田中醫師を招き應急手當を施したが七日朝遂に絕命した植田署では榮喜を過失傷害致死罪として檢擧取調中

茨城無煙
創立開業した 亂賣防止目的

茨城縣下大倉、三井、磐城の三大炭礦が無煙炭の亂賣を防止する爲め資本金十萬圓（全額拂込み）茨城無煙株式會社を創立し東京大倉ビル內に會社をおき來る十一日より開業することゝなつたが重役は左の如く決定した

△社長阿部吾市△常務島山（大倉）氏家（大日本）黑澤（磐城）　以上

磐城炭礦の 修養團記念式

內鄕村磐城炭礦にある修養團磐城炭礦支部では來る十一日紀元節は修養團創立二十五週年に相當するので當日は五百名の團員が列席の上記念式を行ひ更らに例月の向上會を開催すると

一人一斗
平稅務署調査

平稅務署調査にかゝる石城郡の總戶數は二萬六千五百十五戶その人口二十萬四千五百四十八人（昨年末現在）であるが一ケ年間に於ける酒類の消費量は清酒二萬二千七十八石、燒酎一千三百六十四石外に白酒、味淋、ビール、葡萄酒、ウヰスキー等七百九十九合計二萬四千二百四十一石…これを郡內一戶當りにすると六斗六升三合なほ一人當りにすると實に一斗八合ほど消費してゐる譯である

伊藤南州氏
磐炭で講演會

磐城炭礦勞務課では從業員の慰安と教化を目的で毎月第一第二日曜の公休日に乃木會茨城支部長伊藤南州氏の講演會を開き非常の賞讃を擧げてゐるが今月は九日同地昭和館で開く

一月中の 平紹介所
就職は好成績

平職業紹介所の調査による一月中の求職者は總計百五人で之が就職人員は約四割の四十六名である之を昨年一月の就職率六割に較ぶると約二割の低下で郡山方面の就職率の三割二分に較ぶると數段の好成績にある而して女の求職人員は僅か九名で其の內就職したものは六名である之は率に於て好成績であらうが地方にあつて職業紹介所の門をくゞる女子連の中には智識階級は全く無いと云つても良いくらひである就職者の多くは戶內使用人である

豚肉二萬四千貫
年々增加して行く 平の屠殺所調べ

平屠殺所に於ける昨四年度の牛、馬、豚の屠殺總數は二千四百十七頭總肉量十五萬八千四百六十九斤である其の過半數は豚が千九百三十八頭肉量八萬七千三百九十九斤で豚肉の需要が逐年增加の傾がある、昭和三年は二年度より三百三十頭需用數が增し四年度は更らに六百十頭の需用數が增加してゐる而して牛乳方面も緊縮とは反比例の實を示してゐる平署管內には牛乳營業者が九名、壓搾場一ケ所販賣場二家あるが前記販賣總石數は四年度は一四六六五九九立で昨年度の一四二七九立に較ぶると大變需用增加してゐる

選擧運動 質疑問答
質問を歡迎

問　演說會告知のため使用する張札には必ずしも演說會の日時及び場所演題並に出演者ノ總てを記載するを要せずと思料するが如何

答　貴見の通り、但日時及び場所なきときは演說會告知のため使用する張札と認め難かるべし

問　演說會告知のため使用する張札に「何黨公認某候補者演說會」又は「何某推薦演說會」等の文字を記載するは省令第二條第一項の違反なるや

答　演說會なることを表示する文字と認めらるゝ限り差支なし

問、演說會告知のため使用したる張札を其の演說會終了後日時及び場所を書替て他の演說會告知のため使用するは差支なきや

答　新なる張札と看做すべきものとす

推薦廣告

立憲政友會公認候補者
佐藤庄太郎君

政治生命の最後として敢然悲壯る決心を以て奮起した同氏を茲に推薦し極力氏の當選を期す

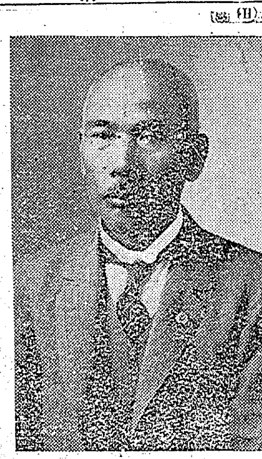
推薦者　佐藤作平
石城郡平町字紺屋町十四

印刷工募集

機械工、文撰見習若干名を募集す、給料、其の他委細面談

平町南町五〇
大和田印刷所
電話四六番

立憲政友會公認
木村清治君



石城政友部會
責任者　平町三ノ三　山田忠太郎

開業一週年

一九三〇年二月九日は開業滿一週年であります、何卒昭和タクシーをお忘れなく御ひいきのほど願上げます。

平驛前
昭和タクシー
電話三四三番
澤正路。

外勤員募集

月給並ニ手當ヲ支給ス
御希望ノ方ハ履歷書送付次第面談日ヲ通知ス

明治生命保險株式會社
平町駐在社員　高玉德彌
平町杉平一二